

# やまとの名品 天理図書館



よくおんえんしんけい  
**浴恩園真景**

ほしのぶんりょう  
星野文良画

文政年間写 2軸

縦42cm

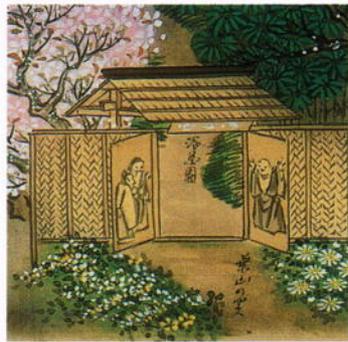
本図巻は、絵師星野文良が描いた『浴恩園真景』。文良は、寛政の改革で有名な松平定信（一七五八〜一八二九）に仕え、江戸後期画壇の重鎮谷文晁に入門、腕を磨いた。

上下二巻から成る本図巻は、定信編集の『浴恩園画記』と総称される全十八巻（内『はなかみ』本誌二〇一三年十二月号掲載）のうちの二巻。上巻に春風の池周辺の景観九図、下巻に秋風の池周辺の景観十図を収める。文良は、定信の浴恩園を題材にした随筆『浴恩園仮名之記』に記されている名所をめぐるかのように描く。

掲出図は、春風の池周辺の満

開の桜・山吹・藤の花等、春と初夏の様子が同時に描かれている。図右下の竹が生い茂る中に門扉がある。扉の中には「浴恩園」との文字が書かれており、これより内側が浴恩園であることを示している。

浴恩園は、現在の東京都築地中央卸売市場にあった定信の下屋敷。定信は文化九年（一八一二）の隠居後、住居を園内の「千秋館」に移し、文人として随筆・詩歌・絵画等の創作活動の日々を過ごす。無類の庭好きで、自ら名付けた五十余カ所の名所を有する約二万坪の風光明媚な庭園を、毎日幾度となく散歩し、自ら庭の手入れも行った。時に



「浴恩園」の門扉

は親しい友人や家臣、その家族の人たちを招いて、散策を許したという。

同園は文政十二年（一八二九）三月の大火で焼失。二カ月後の五月、定信は一生を終える。美しい園の姿を伝えるのは、難を逃れた資料のみである。

（天理図書館 瀬川浩子）

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○4月の休館日：18日・29日・30日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）